



かがわ文化芸術祭2025参加公演

コンサート&映画上映会

～弦楽の響きにのせて 音楽は平和をつなぐ～

2025年

11月2日(日)

●場所 アイレックス(丸亀市綾歌総合文化会館)

●12時開場・13時開演～16時40分終演予定

丸亀市綾歌町栗熊西1680 ☎0877-86-6800 琴電「栗熊駅」徒歩10分

(全席自由)

☆入場料:大人2000円 学生1000円 (小・中・高)

未就学児・親子室があります。

◆主催:香川県こどもに平和な明日を繋ぐ会

(お問い合わせは、内海まで☎080-2990-5917)

◆助成:(公財)置県百年記念香川県文化芸術振興財団

◆後援:朝日新聞高松総局・産経新聞社・山陽新聞社・四国新聞社・毎日新聞高松支局・読売新聞高松総局・RSK 山陽放送・RNC 西日本放送・OHK 岡山放送・KSB 瀬戸内海放送・TSCテレビせとうち・KBN株式会社・CMSケーブルメディア四国・CVC中讃テレビ・FM香川・FM815・高松リビング新聞社・ナイスタウン出版・高松市・丸亀市・県内市町教育委員会(高松・丸亀を除く)

◆協力:「かがわ土笛の会」

◆前売券発売所

源内音楽ホール・レクザムホール・アイレックス・マリンウェーブ・ユープラザうたづ・ハイスタッフホール・高松国分寺ホール・香川県庁生協

●群馬交響楽団・弦楽四重奏

<予定プログラム>

♪リンゴの唄
♪鐘の鳴る丘
♪みかんの花咲く丘
♪金毘羅船々
♪クラシックメドレー



●戦後復興の映画

ここに泉あり

◆1952年企画、1955年公開、監督 今井正。出演 岸恵子 岡田英二 小林桂樹 加藤大介 東野英治郎 草笛光子 山田耕柞(作曲家本人)他。

現代に於いても運営が困難な交響楽団を、終戦直後の日本中が衣食住にも不自由だった時に、人々を音楽で励まそうと1地方都市で立ち上げた市民オーケストラがプロのオーケストラ「群馬交響楽団」へと成長する苦難の歴史を描いたヒューマンドラマ。

作曲家山田耕柞が本人役で特別出演しているのは見ものである。

また、山村の児童達にも演奏を届ける姿や当時隔離されていたハンセン病施設にも慰問に行き、患者の目前で演奏する姿は尊い。

群馬市民の協力により完成した映画は当時300万人を超える大ヒットとなり、日本中に感動を与えると同時に「群馬交響楽団」の名声を広めた。



1945年11月敗戦後の荒廃の中で人々を音楽で励まそうと高崎市民オーケストラが創設され、1963年に群馬交響楽団となる。創立当初より子供達に生の音楽を届けることと社会的弱者への慰問の音楽活動の2つの柱は、プロのオーケストラとしての幾多の公演活動と共に今なお引き継がれている。群響の地域に根ざした活動から県民から「群響は群馬の宝」として強く支持されている。

● 琴電栗熊駅から徒歩10分

● 坂出南 IC から車で約20分

● 琴電瓦町駅から栗熊駅まで44分

● JR 琴平駅から車で約20分



香川県高松市牟礼町出身。4歳よりヴァイオリン、ピアノを始める。香川県立高松高校を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科を卒業。翌年、群馬交響楽団に入団。ヴァイオリンを藤野妙子、服部芳子、故・岡山潔、漆原朝子の各氏に師事。UDON楽カウントダウン高松コンサート等においてコンサートミストレス及びソリストを務める外アンサンブル神戸と共演。2014年、ドイツ・ハンブルクに一年間留学。その間、Stefan Wagner(NDRコンサートマスター)及び Adrian Iliescu(ハンブルク交響楽団コンサートマスター)両氏に師事。2015年ハンブルクにてハンブルク領事事務所主催の東日本大震災支援の感謝を表す「Dankes Konzert」にコンサートミストレスを務める。2013年度、香川県文化芸術新人賞受賞。2014年より高松市観光大使を務める。



中国雲南省出身。ヴァイオリン奏者の父の指導でヴァイオリンを7歳から弾き始める。昆明市立交響楽団ヴァイオリン奏者を経て、上海音楽学院ヴァイオリン専攻を首席で卒業、雲南芸術学院で教鞭をとる。その後、中国国立立交響楽団に入団、ユーディ・メニューイン、シャルル・デュトワ、ゲンナジー・ロジェストヴェンスキーなどと共演。東京芸術大学大学院修士課程を修了し、2004年より群馬交響楽団に入団、ヴァイオリン奏者として活躍、現在に至る。また、室内楽奏者としても、多方面において積極的に活動を展開している。これまで、リナ・ユ、エディワ・グラチ、ユーディ・メニューイン、岡山潔の各氏に師事。2010年11月から、トリオ・アンファミリアのヴァイオリニストを務めている。



桐朋学園大学音楽学部卒業。
在学中は選抜メンバーとして桐朋学園オーケストラの海外公演に参加。卒業後はヨーロッパ各地の講習会に参加して研鑽を積み、イタリア、キジアナ音楽院にてディプロマ名誉賞を受賞、ポーランド国際マイスターコースにて開催されたコンペティションでは審査員の満場一致で最優秀賞に選ばれた。(公財)群馬交響楽団の首席ヴィオラ奏者を努める他、客演首席奏者、室内楽奏者として日本各地のオーケストラ公演や音楽祭等に出演している。ヴァイオリン、ヴィオラを江戸純子、岡田信夫、クロード・ルローン各氏に師事。



1975年長野市に生まれる。幼少期より才能教育研究会チェロ指導者である父からチェロの手ほどきを受ける。14歳より単身豪州シドニーセントアンドリュースカセドラル学校に特待奨学生として留学。長野アスペン音楽祭、伊キジャーナ音楽院にてディプロマ、奨学金を獲得。コロラドアスペン音楽祭にてエマーソン・SQのダヴィッド・ファンケル氏の元で研鑽を積む。霧島国際音楽祭にて特別奨励賞、併せて特別優秀演奏賞を受賞。全日本ビバホールチェロコンクール上位入賞他、多数の国内外受賞歴を有す。2002、2005年2度にわたり小澤征爾、故M・ロストロポーヴィッチ両氏らとキャラバンコンサートツアーに抜擢。2007年モスクワ、クレムリンで行われた故ロストロポーヴィッチ氏80歳記念式典に招待を受ける。桐朋学園大学ソリストディプロマコースを経て、2005年から13年間群馬交響楽団チェロ奏者を務める。2019年群馬交響楽団首席チェロ奏者に就任。これまでに長瀬冬嵐、ミシャ・ゴルバトフ(元シドニー交響楽団チェロ奏者)毛利伯郎(元読売日本交響楽団ソロ首席奏者)、室内楽を原田幸一郎、加藤知子、練繁夫の各氏に師事。

使用楽器は1905年製 Enrico Rocca